



三茶おしごとカフェにおける 民間事業者との連携について



Q 三茶おしごとカフェの利用は多いものの、就職決定には十分結びついておらず、区内では依然人手不足が続いています。他自治体のように民間事業者と連携し、短時間・柔軟な働き方を創出する仕組みを導入すべきです。区内事業者への働き方見直し支援を強化し、子育て世代やシニア層などスキマ時間で働きたい方へ効果的に周知することで、潜在労働力の活用につながると考えます。

A 区では現在、民間連携に関する実態調査を進めており、他自治体の事例も研究しながら、区内事業者の声を踏まえた支援の拡充を図っています。産業振興公社と連携し、求人開拓や人材確保に確実に役立つ仕組みづくりを進めるとともに、子育て世代・シニア世代など潜在的就労層へ向けた情報発信も一層充実させます。民間事業者との連携についても、より利用しやすい形となるよう検討を進め、多様な働き方の実現と事業者の人材確保の双方につながる支援を推進してまいります。

気候危機対策について伺います。



Q 区は家庭部門の脱炭素化を進めていますが、太陽光発電や省エネ改修など高額投資の普及は伸び悩んでいます。ニーズの高い「エコ住宅補助金」は毎年早期に予算消化しており、都の太陽光・蓄電池補助との組み合わせを示す分かりやすい情報発信が必要です。薄型太陽光モジュールなど新技術も補助対象に加え、事前申込制で予算切れを防ぎつつ、区民が取り組みやすい制度へ改善すべきです。

A 区では、狭小住宅でも使える軽量で柔軟な太陽光パネルの実証事業を進めています。高コスト・普及初期の技術については、まずフレキシブルモジュールをエコ住宅補助金の対象とし、今後も新技術の導入支援を検討します。また、補助金が利用しやすいよう、事前登録や申請時期の分散など、区民の皆さまの思いに寄り添った制度改善に取り組めます。

令和7年第4回定例会での公明党代表質問

- 物価高騰対策について
- 災害に備えた施策について
- (仮称) 終活支援センターについて
- 予防医療(乳がん検診の改善)について
- 学びの多様化学校について
- 子どもが安心できる場の拡充について
- みるスポーツについて
- 地域コミュニティの担い手づくりについて
- 子育て世帯・若年夫婦世帯の住宅支援について
- 公共交通不便地域対策について
- 千歳烏山駅周辺の公共施設の集約化について